



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	「基督教學」総目録
Citation	基督教学, 27, 55-62
Issue Date	1992-07-05
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/46513
Type	other
File Information	27_55-62.pdf



『基督教學』総目録 (一九六六～一九九二)

● 第一号 (一九六六)

巻頭言

中川秀恭 (1)

公開講演

福音と言

古田 暁 (2)

研究発表要旨

「エキュメニズム教令」に就いて……………浅井正三 (9)

初代教父における創造の問題……………加藤邦雄 (14)

偽ディオニシウス・アレオパギタの

「神秘神学」……………大出 哲 (20)

● 第二号 (一九六七)

論文

聖トマス・アクイナスにおける善概念の一考察

……………近野 亘 (1)

書評

ラケル部族とレア部族……………宇野光雄 (28)

研究発表要旨

ペシタを中心とした音訳語の問題……………加藤邦雄 (42)

現代経済社会とキリスト教

―主として資本主義の歴史的分析を中心に―

……………石沢 澈 (48)

ルターの聖餐論における犠牲の問題……………岸本羊一 (52)

● 第三号 (一九六八)

論文

解釈学成立序説

―後期ハイデッガーとE・フックスをめぐって―

……………雨貝行磨 (1)

書評

“50 JAHRE IN JAPAN”……………浅井正三 (34)

研究発表要旨

「信仰」と「自律」

―カントの批判哲学を中心に―……………植木幹雄 (46)

キエルケゴールの『後書』第一部研究……………渡部光男 (50)

聖ヴィクトールのフーゴーの聖書観……………山崎忠 (55)

復讐律の倫理性……………山崎保興 (59)

ジャック・マリタンの芸術論における認識対象の問題

―スコラ学的芸術論についての一考察―……………高岡 尚 (64)

● 第四号 (一九六九)

論文

救いの教説に関する一考察

— ルター神学とトマス神学の比較 —

..... 吉村 新一郎 (1)

マルコの旧約理解 土屋 博 (22)

研究発表要旨

「これか・あれか」に於ける美的段階の諸相

..... 渡部 光男 (54)

ジャック・マリタンの「キリスト教的造形芸術」概念

..... 高岡 尚 (58)

Christian Personality 論形成への一考察

..... 中村 陽三 (62)

フォサイス・ルネサンスについて 管井 大果 (66)

マタイ福音書の奇跡物語 池永 倫明 (69)

「呪いの律法」の倫理性 山崎 保興 (73)

新刊紹介 (77)

●第五号 (一九七〇)

論文

ヤハウェ宗教と王国 (一) 宇野 光雄 (1)

研究発表要旨

近代ユニテリアニズムについて

— その呼称の発生と語義について — 大山 綱夫 (19)

クリスチャンパーソンナリティ論形成への実証的研究

..... 中村 陽三 (23)

最近三十年間におけるキリスト教学の新展開

書評

Edward Schillebeeckx,

Gott-Die Zukunft des Menschen 荒木 閔 巧 (30)

ジョン・F・ハウズ「日本人キリスト者と

アメリカ人宣教師」及び Erik H. Erikson,

Young Man Luther 大山 綱夫 (40)

●第六号 (一九七一)

論文

法思想にみられる基督教の影響 高坂 直之 (1)

研究発表要旨

W・モンセレススキの〈よきサマリヤ人〉

解釈史的研究について 三枝 礼三 (19)

〈真珠の歌〉の平行記事 滝沢 武人 (23)

理論的直覚主義粗描 植木 幹雄 (27)

書評

Hans Küng,

Mensurung Gottes 荒木 閔 巧 (31)

Ernst Käsemann,

Der Ruf der Freiheit 滝沢 武人 (41)

●第七号 (一九七二)

論文

エレミヤ書第二章の様式・伝承史研究

研究発表要旨

..... 菅 沼 英 二 (1)

書 評

Dietrich Wiederkehr,

Entwurf einer systematischen

Christologie 荒木 閑 巧 (33)

論 文

● 第八号 (一九七三) 使徒信条——その史的考察..... 牧 野 玲 子 (1)

研究発表要旨

使徒教父における *kybela* について..... 加 藤 邦 雄 (23)

『自然宗教に関する対話』の解釈について..... 植 木 幹 雄 (30)

書 評

Klaus Riesenhuber,

Existenzierung und Religion 近 野 亘 (34)

論 文

● 第九号 (一九七四) 札幌バンドの性格をめぐって

——札幌におけるアメリカ・プロテス

タンティズムの展開..... 大 山 綱 夫 (1)

研究発表要旨

〈アダムの黙示録〉について..... 滝 沢 武 人 (23)

書 評

Friedrich-Wilhelm Marquardt,

“Exegese und Dogmatik in Karl Barths

Theologie” 宇都宮 輝 夫 (28)

論 文

● 第十号 (一九七五) バルトにおける歴史理解とキリスト論..... 宇都宮 輝 夫 (1)

研究発表要旨

ジョン・ミルトンにおける宗教的寛容論について

..... 井 上 昌 保 (23)

ウェーバー理論とピューリタン植民地

..... 大 山 綱 夫 (25)

ローマ書二文書説の再検討..... 木 下 順 治 (27)

報 告

国際旧約学会エディンバラ大会に出席して..... 菅 沼 英 二 (30)

論 文

● 第十一号 (一九七六) 大正期に於ける北海道キリスト教史への若干の考察

研究発表要旨

キリスト論—ラーナーにおける超越論的キリスト論—

荒木 関 巧 (23)

キエルケゴールに於ける「建徳」の概念

渡部 光 男 (25)

研究ノート

エペソ書の構成と成立について……………木下 順 治 (28)

●第十二号 (一九七七)

論文

カントにおける人格性の概念をめぐる

岩谷 日出夫 (1)

研究発表要旨

『ローマ書』におけるバルトの解釈学……………宇都宮 輝 夫 (20)

青年期における宗教意識に関する実証的研究

中村 陽 三 (22)

イスラエルにおける王権

—特に詩篇二篇と一〇一篇との関連—

R・W・マーティン (24)

●第十三号 (一九七八)

中川秀恭先生古稀記念号

献呈のことば……………浅井 正 三 (1)

学会の歩み……………宇野 光 雄 (3)

論文

ヴレーデからフックスへ……………雨 貝 行 磨 (6)

ヤスパースの哲学における

「交わり (Kommunikation)」の概念

岩谷 日出夫 (17)

カール・バルトの宗教論……………宇都宮 輝 夫 (29)

預言者と王国……………宇野 光 雄 (40)

スコラの神の存在証明における闇……………大 出 哲 彦 (50)

旧約聖書における荒野の救済伝承……………菅 沼 英 二 (58)

トマス知性と意志の相互包含についての部分的考察

高岡 尚 (68)

カール・バルトのフォイエールパツハ論

滝澤 武 人 (76)

福音書文学と書簡体文学……………土 屋 博 (87)

ボナヴェントゥラにおける神学と哲学の関係について

三原 武 夫 (96)

テイリツヒ宗教論における理性と信仰……………

山崎 忠 (105)

エルサレムの発掘……………山崎 保 興 (114)

キエルケゴールに於ける「建揚」の概念の発展

渡部 光 男 (125)

●第十四号 (一九七九)

論文

ジョン・ミルトンにおける教会と国家

井上昌保(1)

研究発表要旨

十九世紀アメリカ・プロテスタンティズムについて

―特にその宣教活動を巡って― 大山綱夫(21)

契約思想と旧約神学……………菅沼英二(25)

研究ノート

「ダビデの町」再考

―ミロとオペルのことなど―……………山崎保興(29)

●第十五号(一九八〇)

論文

M・ウェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義

の精神』の改訂と *Entzauberung* の概念

……………白井暢明(1)

研究発表要旨

古代イスラエルにおける個人と共同体

……………三枝礼三(21)

「ダビデの町」と「ミロ」……………山崎保興(24)

G・エーベリンクの神学……………兩貝行麿(27)

書評

Heinrich Schlier, *Grundzüge einer paulinischen*

Theologie……………阿部包(30)

●第十六号(一九八一)

論文

キリストの律法を全うせよ?

―ガラテア6・2の解釈をめぐる―

……………阿部包(1)

研究発表要旨

カルケドン公会議のキリスト論……………荒木関巧(19)

バトラー倫理的特徴について

―「隣人愛について」の説教を中心にして―

……………植木幹雄(21)

ラートの旧約神学の問題……………菅沼英二(24)

福音書における(これらの小さいもの)

……………三枝礼三(28)

●第十七号(一九八二)

論文

ヘブル5・1-10における大祭司キリスト

……………荒木関巧(1)

研究発表要旨

マルシリオ・フィチーノにおける哲学と宗教

……………伊藤博明(22)

シルシとモノ ―ニコラス・クザーヌスの

コンペンディウムにおける―……………野沢建彦(25)

北海道の娼娼運動と佐野文子の生涯……………福島恒雄(28)

ウェーバー『世界宗教の経済倫理』のテーマについて

.....白井暢明(32)

●第十八号(一九八三)

論文

ルターにおける「信」の問題と中世哲学

.....清水哲郎(1)

研究発表要旨

宗教性の発生次元に関する一考察.....加藤嘉夫(20)

研究ノート

「宗教の自由」への歩み.....高橋弘(25)

●第十九号(一九八四)

論文

教会観によって生まれる教会建築の形

.....川島洋一(1)

研究発表要旨

第一コリント十三章の研究.....和田博文(24)

高校生における宗教的意識について.....加地徹(28)

研究ノート

パウロとユダヤ的なもの.....阿部包(31)

●第二十号(一九八五)

論文

再洗礼派の教会観

ースイス兄弟団を中心にー.....高橋弘(1)

研究発表要旨

ピコ・デッラ・ミランドラにおける

自由意志の問題.....伊藤博明(20)

研究ノート

北海道キリスト教史研究に関わって

ー小谷部全一郎のことどもー.....福島恒雄(23)

●第二十一号(一九八六)

論文

ヨハネ福音書における繫辭の機能とその思想

ー第8章12節〜59節をめぐってー

.....佐々木啓(1)

研究発表要旨

ニコラウス・クザースの《non-aliud》における「非他」

(non-aliud)と「他」(aliud)について

「非他」は他者と異なりつつも、他者にはかならないー

non-aliud neque est aliud.

nec ab alio aliud.....野沢建彦(30)

北海道のキリスト教会と教会建築

(その2)道北地方のプロテスタント教会について

.....川島洋一(34)

●第二十二号(一九八七)

論文

Pico della Mirandola and the Ancient

Chaldaean Theology 伊藤 博 明 (1)_左
研究ノート

第三イザヤに於ける「沈黙」..... 関 根 清 (三) (1)
書 評

Werner H. Kelber,
The Oral and the Written Gospel

..... 佐々木 啓 (8)

●第二十三号 (一九八八)
論 文

主要邦訳『使徒信經(経)(条・條)』訳語・表記・表現上
の変遷 —【慶應4/明治元年〜明治28年資料の紹介】
を中心に!..... 牧 野 玲 子 (1)

研究発表要旨

旧約聖書に於ける「天の万象」礼拝理解のために
..... 菊 地 純 子 (26)
フェリクスの「宗教改革」はフガートが多すぎるか
..... 加 地 徹 (32)

研究ノート

ホセア書における「神の民」の問題

—「神の子ら」をめぐる!..... 菅 沼 英 二 (36)

●第二十四号 (一九八九)
論 文

幻の手紙

—ヨハネ黙示録のプロローグ・エピローグ—
..... 朝 井 かおる (1)

研究発表要旨

日本聖公会所属の二棟の教会建築について

—北海道のキリスト教会と教会建築(その3)—
..... 川 島 洋 一 (27)

預言者エレミヤと申命記..... 菅 沼 英 二 (33)

「ダビデの町の発掘調査(その後)」..... 山 崎 保 興 (37)

●第二十五号 (一九九〇)

論 文

シモーン・ヴェイユにおける無化の神秘

—「脱創造」と神への回帰を巡って—
..... 澤 田 愛 子 (1)

研究発表要旨

北海道における日本ナザレン教団の教会建築について

—礼拝室と固定席の床面積的考察—
..... 千 里 政 文 (18)

日本カトリック教会旭川五条教会の聖堂とその変遷

北海道のキリスト教会と教会建築(その四)
..... 川 島 洋 一 (25)

キリスト教徒日曜日訴訟判決について

(東京地裁 61・3・20)..... 加 地 徹 (35)

書 評

宇都宮輝夫『生と死の宗教社会学』…白井暢明(39)

●第二十六号(一九九一)

論文

書簡集の中のエロイーズ

—新しいエロイーズ像のための試論—

……………大道敏子(1)

研究発表要旨

北海道における日本ナザレン教団の教会建築について

(その二) —正面(立面)形態についての考察—

……………千里政文(30)

日本カトリック教会旭川大町教会の聖堂とその変遷

北海道のキリスト教会と教会建築(その五)

……………川島洋一(38)

書評

土屋博著『牧会書簡 テモテへの第一の手紙、

テモテへの第二の手紙、テストへの手紙』(日本

基督教団出版局、一九九〇年) ……田中勇二(51)